

1 教育目標

校訓 「すなおで かしこく すこやかに」

(1) 本校の教育目標

心身ともに健全で、豊かな人間性とたくましい実践力を身につけた子どもの育成

- ＜具体的な子ども像＞
- ・すなおで、思いやりのある子ども (徳)
 - ・よく考え、すすんで学ぶ子ども (知)
 - ・じょうぶで、ねばり強い子ども (体)

(2) 経営方針

- ア 相手を思い、気もちのよいあいさつのあふれる「明るい学校」
- イ いきいきと学び合い、主体的に活動する「楽しい学校」
- ウ 安心・安全で、喜びとやりがいを感じる「感動のある学校」
- エ 学校と家庭や地域が繋がる「信頼される学校」

(3) 本年度の重点努力目標

14学級というスケールメリットを生かし、全教職員で意思の疎通を図りながら子どもを中心に据えた学校づくり、また、開校150年の節目で再確認した子ども・教職員・保護者・地域の「それぞれの良さ」を生かした学校づくりを一層推進する。

- ア 互いに認め合い、子どもが主体的に活動する“学級・学年”づくり
 - ・児童の活動（児童会活動）を中心とした異学年交流
 - ・三好特別支援学校とのなかよし交流を中心とした異校種交流
 - ・個々の子どもの把握・共通理解に努める「子どもを語る会」「教育相談」
- イ 仲間と学び合う喜びを実感できる「わくわく授業」づくり
 - ・教職員同士が共に学び合いながら、子どもの思いを大切にし、考えを深める授業づくりの推進
 - ・「南部小授業スタイル」の定着と「そよかぜタイム」の計画的な実施
 - ・高学年・中学年を中心とした専科教育の充実と学年内での教科担任制及び少人数指導の推進
 - ・GIGAスクール構想への対応、ICTの効果的な活用
 - ・「つなぐ」ことを意識した特別活動・キャリア教育の推進
- ウ 家庭・地域とともに子どもを育む151年目の“おらが学校”づくり
 - ・学校運営協議会を中心とした地域との組織的・計画的・継続的な関わりの充実、学校運営への地域の宝（人・自然・歴史・物事）の活用
 - ・日常活動や諸行事、総合的学習や生活科等の授業における、地域講師・PTAとの連携
 - ・学校ウェブサイトや学校だより等による積極的継続的な情報発信
- エ 働き方改革の推進
 - ・担当授業時数の削減及び少人数指導の充実による業務改善の推進
 - ・働き方を自分事としてとらえる意識改革、軽重をつけた休み方の推進
 - ・専門スタッフやボランティアの活用